

RAST				2000000	
RAST				担当部署	
RAST				一般	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項			特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→アレルギー→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		1) 薬物や職業性のアレルギーにおいて、アレルゲンに対して過敏となる患者の場合、陰性結果が得られる場合がある。 ・ IgE の関与しないアレルギー症状が現れる。 ・ 検体はアレルギー反応後 2 週間以内に採血する。さらに 2 週間後に確認試験を実施する。 ・ アレルギー反応が最後に起こってから長期間経過して採血した検体は、時間とともに IgE 抗体量が減少する。 2) ラテックスと特定の食物（アボカド、バナナ、栗やキウイ等）の間には臨床的に交差反応が起こる可能性がある。			
検査受付時間		8 : 15～16 : 00			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項			該当なし		
検体採取の特別なタイミング			特記事項なし		
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件			室温		

検体受入不可基準	1) 採取容器違いの検体 2) バーコードラベルの貼られていない検体 3) 量不足 4) 粘性のある検体								
保管検体の保存期間	2℃から8℃冷蔵保存 14 日（追加検査については検査室に要問合せ）								
検査結果・報告									
検査室の所在地	病院棟 3 階 中央検査部								
測定時間	当日中								
生物学的基準範囲	0～0.34 U A/mL EX 一般 238「シーメンス・イムライズアラスタット IgE II」添付文書								
臨床判断値	該当なし								
基準値				単位	UA/mL				
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値				
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし				
パニック値	高値	該当なし							
	低値	該当なし							
生理的変動要因	特記事項なし								
臨床的意義	.特定の抗原を認識する I g E を対象としたもので、I 型アレルギー患者のアレルゲン特定に用いられる。								